

# DIGITABLE 第 49 回勉強会レポート

2011 年 10 月 15 日 於：森下文化センター 第一研修室



翌月に迫った作品展準備に追われる

Digitable 基礎講座「レイヤーと調整②」：高木大輔講師  
参加者全員による“ライトニングトーク”（持ち時間 3 分）

Photoshop 研究講座「シャープとハイパス」：平野正志 講師

DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>

## Digitable 基礎講座 2011 第 6 回

### レイヤーと調整②：高木大輔講師（APA 会員）

＊調整レイヤーとマスク

右の概念図では滝の両端が暗いので、まず大きくレベル補正した調整レイヤーをつくり、そのレイヤーの中央部分を大きくボカして塗ることによって、塗った部分の明るさ補正の適用を“マスキング”した訳である。

調整レイヤーを使った部分調整では、このようにいかに効率よくマスクや選択範囲を描くことがカギになる。

右中図のように白紙ファイルを作成し、グラデーションツールやブラシツールであらかじめ“練習”をしておくことをお勧めする。

＊調整レイヤーの実践

作例は明るくしたい日陰の奥の部分と、逆に日差しが当たってトビ気味の手前部分が混在している。現場でのこれ以上の露出補正は困難で、ヒストグラムを確認してからうじて潰れず飛ばずの露出を選んできた次第だ。ここではそれぞれ二種類のトーンカーブ調整レイヤーを組み合わせ、補正の両立を狙おう。

手順 1：調整レイヤーでトーンカーブ補正を選択し、奥に

合わせガンガン補正。手間のトビはここでは気にしない

手順 2：トーンカーブ調整レイヤーを右下から左上に向かった斜めの直線形グラデーションでマスキング

手順 3：今度は新たなトーンカーブ調整レイヤーで、手前

に合わせアンダー補正補正。奥も暗くなるが気にしない

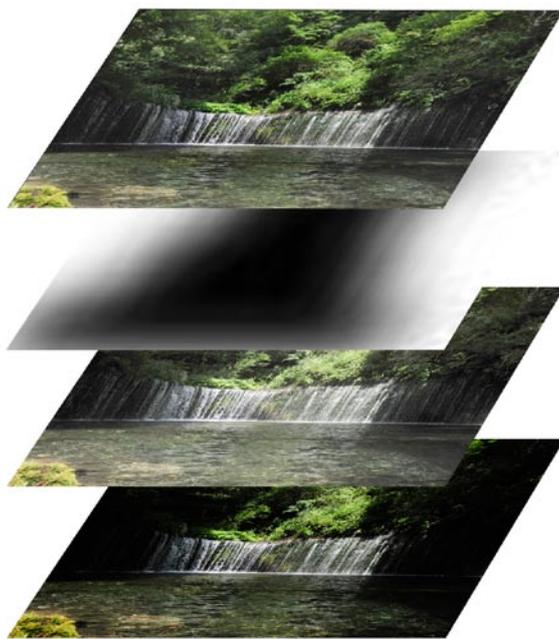
手順 4：トーンカーブレイヤー 2 を左上から右下に向かった斜めのグラデでマスキング。明るさのバランスがとれた！

た！

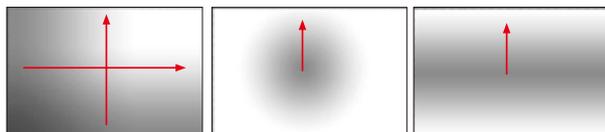
\*\*\*\*\*

（禁：無断転載）DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME)

<http://www.digitable.info>



調整レイヤーの概念図



白紙ファイルを作成し、グラデーションツールやブラシツールであらかじめ“練習”をしておくこと



手順 3～4 の組み合わせの様子。明るさのバランスがとれた！

## 参加者全員による“ライトニングトーク”

(各自持ち時間 5分)

KMさんはパソコンとエプソンダイレクトの話。

KWさんは川越での作品をスライドショーで。

NYさんは網代合宿で撮ったピンホール作品。

KKさんは中央線沿線の作品。

IFさんは野川の朝、コスモスが美しい。

AYさんはPhotoshopCS5から5600でのプリントの際、初

めの1枚が明るく出るそうだ。CS4なら大丈夫だそうだ。

MMさんは網代合宿と夏の作品をプリントで、質感にこだわって±1.0のブラケティングを励行。

STさんは松山郊外の撮影紀行、プリントの際彩度は上げているとのこと。

SYさんは写真の評価の材料について、という興味深い考察。…等々であった。

\*\*\*\*\*

## Photoshop 研究講座 平野正志 講師

### 「シャープとハイパス」

\*スマートシャープ

フィルター→シャープ→スマートシャープ

設定は「量」%、「半径」Px「除去」ぼかしがある。

「詳細」でシャドー、ハイライトに細かな設定ができる。

\*ハイパス

フィルター→その他→ハイパス

その方法は独特で輪郭以外にマスクをかける方法となる。

拡大してみると細かなノイズなどの部分にもシャープがかかっている様子が見られるが、プレビュー程度の拡大ではサンプル写真の水の部分などはグレーに覆われているように見える。グレーに見える状態からレイヤーのブレンド条件を「通常」から「オーバーレイ」にすることでハイパスによるマスクを隠すことができる。

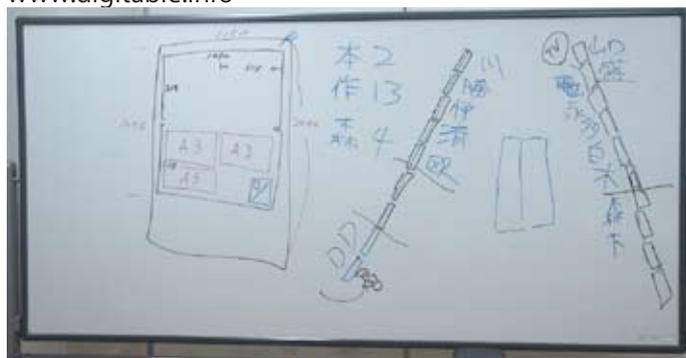
シャープ、ハイパスともに輪郭を強調し、コントラストが上がることで粒状感が強調される、また同様に彩度も上がることになる。ハイパスをかけるには直接背景レイヤーに作業する事が出来ない。レイヤーとしてのブレンド条件の変更が前提で、直接作業しない事でやり直しなどの作業も容易だとも言えるだろう。

それぞれハイパスの半径を 1pix,5pix,10pix,50pix と変更したものを拡大してみると数値が大きくなると次第にコントラストも上がり、彩度も上がっているのもわかる。

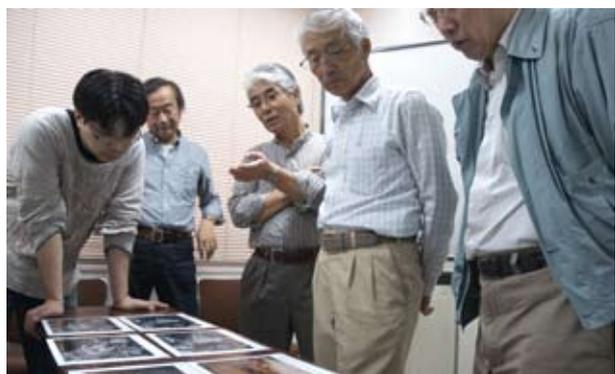
数値を大きくするに従い輪郭が強調され輪郭線のようなものが現れる。通常使用するのは 1pix から 3-4pix 程度の範囲だが、2pix 以上になると輪郭線も次第に目立つようになる。

\*\*\*\*\*

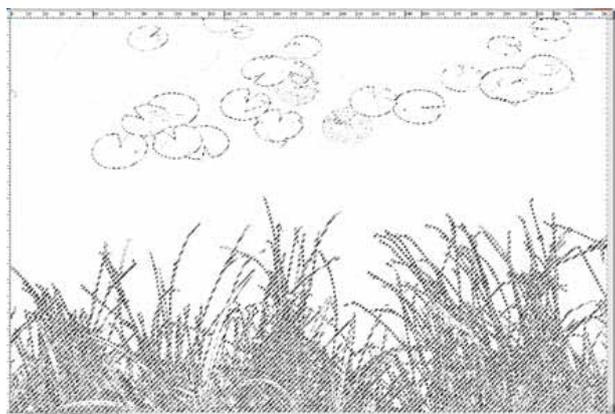
(禁：無断転載) DIGITABLE 写真技術勉強会 (HOME) <http://www.digitable.info>



今月の1枚：11月の作品展に向けての打合せボード



左から 1pix、5pix、10pix、50pix



ハイパスで選択範囲を作りシャープをかける



左から オリジナル、ハイパス、シャープ